

2024 年 12 月 23 日

“「いのち」に触れて「生きる」を考える”をテーマとした 北海道・十勝スタディツアーを販売します

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）は、「NPO 法人食の絆を育む会」（所在地：北海道十勝郡浦幌町、理事長：近江正隆）と「一般社団法人十勝うらほろ楽舎」（所在地：北海道十勝郡浦幌町、代表理事：山内一成）にご協力いただき、2025 年夏実施の中学生・高校生を対象とした“「いのち」に触れて「生きる」を考える北海道・十勝スタディツアー”を企画し販売いたしますのでお知らせします。



酪農体験の様子



畑作業の様子



退村式の様子

本ツアーは、国内における探究学習の一つとして昨年度から関西・関東・北海道の多くの私立学校で採用された、第一次産業の現場を訪れ、日常生活で消費している食品個々の生産者から、それぞれの思いや苦勞を生産現場で直接感じていただくことで、「いのち」や「生きる」について考察を深めるプログラムとなっています。

命の糧・食を育む大事な場所である農村漁村とのつながりが希薄になっていると言われる現代社会において、本来人が生きていくうえで根幹となる「食」について、食料自給率 1,100%超を誇る日本の食糧基地である北海道十勝地方を舞台に本物の農林漁業に触れ、「食」や「いのち」について、次代の担い手となる中学生・高校生の皆さんに、新たな視点で考えてもらうことを狙いとしています。農家さん宅でのホームステイやふれあい、そして酪農体験での牛のいのちへの気づきなどを通じ、「いただきます」の言葉の意味や「生きる本質」についてワークショップで考えを深め、地域における次世代の担い手育成への一助となることも目的とした取り組みです。

当社は今後も関係者の皆さまと連携し、地域の方々との交流や、関係人口創出に寄与する商品の企画・造成を推進してまいります。

以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

<https://www.tobutoptours.co.jp/>
TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

「いのち」に触れて「生きる」を考える 北海道・十勝スタディツアー



食料自給率1100%を誇る十勝で「食」や「いのち」に触れ、「生きる」を感じる

国民の第一次産業への関心が減少し、命の糧・食を育む大事な場所である農山漁村とのつながりが希薄になっている現代社会。

人が本来生きていく上で根幹となる「食」について、日本の食糧基地である十勝で本物（農林漁業）に触れ、「食」や「いのち」について考えることを狙いとしています。

■ 旅行期間：2025年7月30日(水) ～ 8月2日(土) 3泊4日

■ 旅行代金：86,800円 (新千歳空港発着/お一人様)

■ 申込方法：右側の二次元コードよりお申込みください。

■ 利用予定バス会社：ほくしょう運輸 ■ 食事条件：朝食3回・昼食2回・夕食3回

■ 添乗員：同行いたします ■ 申込締切：2025年4月25日(金)

■ 募集人員：40名(最少催行人員35名) 定員になり次第、締切とさせていただきます。



●十勝の概要

十勝は北海道の南東部に位置し、面積は10,831.62 km²あり、面積は岐阜県とほぼ同じ広さを有し、広大な農村風景のパノラマが広がり、思わず目を奪われます。豊かな気候に恵まれ、小麦、豆類などの畑作や、酪農、畜産、また山や海にも面しており、林業や漁業も盛んに行われています。食料自給率（カロリーベース）は約1100%（約400万人の食を生産）もあり、日本最大の食料基地としての役割が期待されています。

【面積】10,831.62 km² 【市町村】1市16町2村で構成 【人口】約32万5000人

【主な産業】畑作、酪農、畜産、林業、漁業



協力する2つの組織について

10年間で約23000人の中高生を受け入れた実績を持つ **NPO法人食の絆を育む会** がホームステイや酪農体験を提供します。十勝管内約300戸の農林漁業者が所属し、国の白書などにも登場する信頼できる組織です。また体験の振り返りや、参加者個々の学びの伴走は、数々の教育プログラムを開発している **一般社団法人十勝うらほろ楽舎** が担当いたします。東武トップツアーズから2社に出向しているスタッフとの連携による万全の協力体制でツアーを提供します。



NPO法人 食の絆を育む会



十勝うらほろ楽舎
TOKACHI URAHORO GAKUSHA

十勝からのメッセージ

私は東京生まれです。北海道に移住をして33年が経ちます。生まれ育った都会も大好きですが、都会にはない良さや価値がここ十勝にはあると感じています。命の糧である食を生産する現場で参加者の皆さんには普段はできないたくさんの体験を通じ、このツアーのテーマである「いのち」「生きる」を体と心で感じてほしいです。全力で皆さんをサポートさせていただきます。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



NPO法人食の絆を育む会
一般社団法人十勝うらほろ楽舎
創設者 近江 正隆

日程表	7/30 (水)	7/31 (木)	8/1 (金)	8/2 (土)
朝食	×	農家さん宅	ホテル内	ホテル内
午前	★中部・大阪発着プランは、下記フライトがセットとなります。 新千歳空港11:30集合 貸切バスにて十勝地方へ	*ホームステイプログラム 畑作農家のお手伝い (リアルな収穫体験) 収穫したものを昼食でいただきます。	貸切バスにて よつ葉乳業十勝工場へ 牛乳の製造工場の見学	貸切バスにて 帯広畜産大学へ 現地学生との意見交換 プログラム終了後、 新千歳空港へ
昼食	×	農家さん宅	お弁当	×
午後	*ホームステイプログラム 面会地点にて 「食の絆を育む会」 農家さんご対面 畑作農家のお手伝い 家族のようなふれあい	昼食後、貸切バスにて 十勝幕別温泉へ チェックイン後 ホームステイ振り返り ワークショップ	貸切バスにて酪農牧場へ *「生きる・いのち」の学習 酪農農家さんの お仕事体験＋見学 「生きる」を考える ワークショップ	新千歳空港に到着後、 解散(13:00～14:00) ★中部・大阪発着プランは、 下記フライトがセットとなります。
夕食	農家さん宅	ホテル内	ホテル内	×
宿泊	ホームステイ (農家さん宅)	十勝幕別温泉 グランヴィリオホテル	十勝幕別温泉 グランヴィリオホテル	

*新千歳空港にて集合解散となります。中部空港・大阪空港から新千歳空港までの飛行機セットプランについては、下記をご参照ください。※飛行機セットプランについては、手配数に限りがあります。

飛行機セットプラン	往 路	復 路	追加代金
中部空港 発着	JAL3101 中部0850→新千歳1035	JAL3116 新千歳1805→中部1950	41,500円増
大阪空港 発着	JAL2001 大阪0800→新千歳0955	JAL2010 新千歳1610→大阪1800	43,000円増

*上記の便名と出発時間は、2024年12月4日現在の予定運航スケジュールを参考にしており、発着時間が変更となる場合があります。その場合は、便名を優先します。また片道のみ（中部と大阪での往復を含む）の利用はできません。

POINT① 「いのち」に触れる

北海道・十勝は日本最大級の食糧基地です。「いのち」を育むうえで大切な「食」の生産現場でのリアルな体験、「食」を生産する農家さんたちの想いに触れる経験を通じて、「いのち」の本質に触れていただきます。また、農家さんたちの温かく包み込むような優しさに触れる、ホームステイは唯一無二の体験です。



POINT② 「生きる」を考える

酪農体験では、牛のいのちに触れながら「生きる」を体と心で感じていただきます。そして実際に感じたことや考えたことを軸に「いただきます」の言葉の意味や「生きる本質」をワークショップを通じて考えます。参加者ひとりひとりと丁寧に向き合うワークを専門のファシリテーターのもとで実施していきます。



畑作農家のホームステイ



畑作を営む農家宅でホームステイを実施。じゃがいも・とうもろこしなどを大規模で育てている農家の迫力、農家の想いに触れていただきます。収穫したての野菜本来の甘さは、現地でしか味わえません。日本最大級の食糧基地十勝でのリアルな「いのちに触れる」農業体験は一生の思い出となり、十勝で生きる農家さんとの繋がりは一生の財産になります。

酪農体験と牛乳工場見学



普段から飲んでいる牛乳。その仕事現場での体験は、たくさんの気づきの場でもあります。牛の体温を感じ、牛のいのちに触れ、生きることにあらためて考える、そんなきっかけになるプログラムです。搾乳体験、哺乳体験などを予定しております。また酪農体験前の午前中には、出荷先である「よつ葉乳業」の工場を見学していただきます。

生きるを考えるワークショップ



畑作農家での体験、酪農家での体験を振り返り、グループで共有します。体験する前後の心の変化は、いのちの価値、生きる本質に向き合うために大事な気づきです。体験を体験で終わらせず、きちんと学びに落としていくために、数々の受入で実績のある十勝うらほろ楽舎所属の専門ファシリテーターが参加者に向き合い、伴走いたします。

帯広畜産大学生との交流



帯広畜産大学は、北海道十勝地方にキャンパスを持つ国立大学で、獣医・農畜産系の単科大学です。本学で学び、日々食や農を通じて、いのちと向き合っている学生と対話し、交流します。最終日に行うこのプログラムでは、参加者それぞれが4日間のまとめとして、学んだことをどう生かしていくのか？これからを考えるプログラムです。